

事業報告書（令和5年度）

事業名 SDGs に取り組む ESD による地域教育力育成事業

団体名 岡山市京山地区 ESD・SDGs 推進協議会 担当者名 柏崎 希

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【春の環境てんけん 2023】

※午前に予定していた第1部「身近な環境調査」は降雨による用水路増水のため中止した。

ただし、水質調査（全国調査）は、第2部終了後に高校生と大学生を中心に実施した。

第2部「ホタルについて知ろう！学ぼう！」

- 日時 2023年6月3日（土）14:00～15:30
- 場所 岡山市立京山公民館
- 参加対象者 小学生から大人まで
- 参加人数 47人（学生ボランティアを含む）
- 講師 岡山理科大学教授中村圭司さん、岡山理科大学学生、岡山理科大学附属高校生徒、友延栄一さん
- 内容
 - 14:00 ホタルクイズ（岡山理科大学附属高校生徒）
 - 14:15 ホタルの生態の話（中村圭司さん、岡山理科大学学生）
 - 14:55 京山地域周辺のホタル生息地の紹介
 - 15:10 ホタルの幼虫観察



水質調査（全国調査）

- 日時 2023年6月3日（土）15:45～18:00
- 場所 岡山市立京山公民館及び京山地区内の河川・用水路
- 参加対象者 高校生・大学生から大人まで
- 参加人数 10人（学生ボランティアを含む）
- 内容 京山地区内の河川・用水路の15箇所で採水を行い、水質を調査

(pH、COD、亜硝酸態窒素、電気伝導度についての定点定期調査)



前日の降雨による増水の影響が数値に出た。pHとCODは概ねやや高めの数値になっていたが、亜硝酸態窒素は全域に渡って検出されており、この数値には用水路としての利用によるものと同時に、排水路としての役割も一部に担っている現状による影響が出ていると見られた。水質調査は、よほどの悪天候でない限りは実行可能なため、今後も継続的な調査を続けたい。

【秋の環境てんけん 2023】

- 日時 2023年10月28日(土) 9:30~12:30
- 場所 京山地区内用水路、県総合グラウンド
- 参加対象者 小学生から大人まで
- 参加人数 47人(学生ボランティアを含む)
- 講師 柏雄介さん・松本英子さん・中村圭司さん
- 内容 はじめは2グループに分かれ座主川で水辺の生き物、水質調査、総合グラウンドで植物と大気、騒音の調査、ドングリ等の採取を行い植物について講師から解説をいただいた。その後合流し、観音寺用水「緑と水の道」で水辺の生き物と水質の調査を実施し、採取した生き物について講師から解説をいただいた。また用水路内及び周辺部のごみの調査と回収も行った。その後公民館に戻り、活動の感想を用紙に記入した。



【SDGs・健康ウォークラリー】

- 日時 2023年11月25日(土) 9:30~12:30
- 場所 京山中学校区全域
- 参加対象者 子どもから大人まで
- 参加人数 43人(学生ボランティアを含む)
- 内容等 SDGsの視点から見た京山中学校区内の見所をピックアップし、短距離と長距離の2コースを設定した。見所選定、コース設定、クイズ作成、チェックポイントとなる企業等との交渉については、高校生・大学生ボランティアを募集し、進めてもらった。また当日運営にも高校生・大学生ボランティアに関わってもらった。自分たちの住む地域の魅力を再発見し、SDGsについての理解を深める機会ともなり、学生と地域住民との交流もできた。



【第19回 京山地区 ESD・SDGs フェスティバル】

- 日時 2024年1月27日(土)~28日(日)、月間行事として前後一ヶ月程度
 - 場所 岡山市立京山公民館
 - 参加対象者 子どもから大人まで
 - 参加人数 約900人(学生ボランティア含む)
 - 内容等 テーマ「京山から実践! SDGs でつながる未来」
- ★活動発表★伊島認定こども園、津島小学校、伊島小学校(以上 VTR)、京山中学校、烏城高校、岡山工業高校、明誠学院高校、各学校の発表にコメントをいただいた。(市長、教育長、連合町内会長等)
- ★京山カムカムトーク~SDGs 交流会~★
- 学校や企業、行政機関等様々な分野の SDGs 活動について学び、参加者間で交流・意見交換を行った。

◎司会: 岩淵泰さん(岡山大学地域総合研究センター准教授)

◎ゲスト: 柴川弘子さん(岡山大学大学院教育学研究科 ESD 協働センター助教)

福田和仁さん(岡山県生涯学習センター振興課主任)

◎事例発表団体: 岡山理科大学附属高校科学部「科学部の取り組みについて」

岡山商科大学犯罪被害者支援部つぼみ「犯罪被害者支援活動について」

中国銀行津島支店「ちゅうぎん SDGs コンテストについて」

岡山市文化振興課「ユネスコ創造ネットワーク文学分野加盟について」

★地域の絆ワークショップ★

「ボランティア」をテーマに、事例発表や意見交換を行った。進行や各グループのファシリテーターは明誠学院高校の生徒が担った。

★その他★

ネパール活動報告（講師：高木美佳さん）、ネパールカレー作り&交流会、Song & Dance ~世界の歌と踊り~、おもい つなぐ むすぶ、ものづくり教室（岡山工業高校）、京山みんなのカフェ（チューリップの会）、こけ玉作り（藤クリーン株式会社）、フードドライブ（津島生活学校）、新聞紙で鉛筆作り（岡山県生涯学習センターぱるボランティア）、伝統文化と昔遊び、食器リユース、世界遺産クイズ（岡山ユネスコ協会）、オリジナルタンブラー申込み受付、ポスター展示

★月間行事★

スマホ入門道場 1/25（木）16:00~17:30

SDGs 映画祭「ファザーファースト」上映

①2/10（土）19:00~21:00 ②2/15（木）10:00~12:00

どうする？プラスチックごみ～環境Café～ 2/17（土）14:00~15:30

ホテルはなぜ光る？～ホテルミニ教室～ 3/10（日）10:00~11:20

ポスター展示 1/27（土）～2月末



【活動発表】



【京山カムカムトーク】



【地域の絆ワークショップ】



【Song & Dance ~世界の歌と踊り】



【京山みんなのカフェ】



【食器リユース】

2. ESD の視点

①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

環境てんけんやウォークラリー、フェスティバルを通して、京山地区に愛着と誇りをもって、京山地区のことを自分事として考えられる人が増えてきていることが、事業時に行ったアンケート（ふりかえり）の記述から読み取れる。

②どのように学び合いを取り入れたか

ESD・SDGs フェスティバルといった場を活かして、「京山カムカムトーク～SDGs 交流会～」、「地域の絆ワークショップ」、「どうする？プラスチックごみ～環境 Café～」など、対話、交流型の学び合いの場をつくることで、多様な学び合いができるようにした。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

学びの場を、「説明・納得型」ではなく、「発問・対話型」が主となるようにすることで、学びから探究、主体的な実践行動へと変容していけるように工夫した。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

京山地区は、高校と大学がそれぞれ3校あるため、毎回、多くの新しい若者を育成できているという点では大きな成果があると言える。近年、高校も大学も地域のボランティア活動への参加を強めているだけに、高校や大学との連携の仕組みができているのは当地区の大きな強みである。スタッフとして企画からボランティア参加した学生達のふりかえり（感想）などを見ると、企画から主体的に関われたことが、本人の意識と行動を大きく変容させていることがわかる。参加者をいかに「お客さん」にしないか、「主体的な参加者」にできるかで、成果は大きく異なることを取組みを通して強く感じた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

本事業では、高校生と大学生の関わりが多い京山地区の強みが活かされており、ここでの成果は京山地区のみならず、岡山地域に広く波及効果も出している。今後も、岡山地域の牽引役として ESD に取り組み、持続可能な社会づくりを推進していきたい。